

## 11 安全対策及び長寿命化等を目的とした既設線の改修・更新への支援など地下鉄事業に対する財政措置の拡充

(総務省・国土交通省)

京都市は、世界を魅了し続ける山紫水明の歴史・文化・観光都市であると同時に、京都議定書誕生の地、環境先進都市であり、市バス・地下鉄と民間バス、私鉄等とのネットワーク化に取り組むなど、公共交通優先のまちづくりを進めています。

しかしながら、これを支える地下鉄事業の経営状況は極めて厳しく、平成 24 年度決算では、累積資金不足額は 309 億円、資金不足比率は、経営健全化基準である 20% を上回る 31.9% に達するなど、本市財政にとって最大の課題であり、「京都市高速鉄道事業経営健全化計画」を策定し、経営健全化に全力で取り組んでいます。

こうした中でも、安全対策や防災対策をはじめとする鉄道の運行に必要な設備投資は欠かせないことから、今後も相当の費用負担が生じることとなります。また、地下鉄開業から 30 年以上が経過し、現行制度では補助対象となっていない既設線の改修・更新事業にも多額の費用負担が見込まれます。

さらに、平成 24 年度末の企業債等借入残高は 4,300 億円を超える巨額に上っており、年間 100 億円近い利子償還が経営への大きな負担となっています。

つきましては、地下鉄事業の経営健全化を進め、安全で快適な交通手段として将来にわたって安定的に運営していくため、次のとおり求めます。

### 提案・要望事項

- 1 鉄道施設の安全対策及び長寿命化等を目的とした既設線の改修・更新事業に対する補助制度の拡充
- 2 高金利建設企業債の借換制度の拡充（金利 5% 以上で未措置分の再実施、及び 5% 以上から 3% 以上への条件緩和）

所管の省庁課：総務省（自治財政局公営企業課、公営企業経営室、地方債課）  
国土交通省（鉄道局都市鉄道政策課）

京都市の担当課：交通局 企画総務部 財務課長 長谷耕治 TEL 075-863-5080

## 地下鉄の果たす役割

### 京都を支える都市装置として地下鉄は不可欠

- 年間5千万人の観光客。1日当たり旅客数約33万9千人、市内鉄道輸送の約50%を担う。
- 道路が狭い中で渋滞が慢性化する都心部における交通の大動脈
- 市民の利便性を向上させ、安心・安全な移動を確保する都市基盤
- 環境に優しい、景観に配慮したまちづくり（CO2排出量は自家用車の約20分の1）
- 市の重点政策である、ひとと公共交通を優先する「歩くまち・京都」の実現に大きな役割



## 地下鉄事業の財政状況

### 多額の建設費の返済等により、公営地下鉄事業者で唯一の経営健全化団体

- 地下鉄事業は建設費が巨額で、収支採算は50年以上の長期間をかけて確保する性格の事業
- 本市では、東西線の建設がバブル期と重なったこと等から建設費が高騰（全線総額約8,500億円）

#### <地下鉄事業の財政状況（平成24年度決算）>

- 経常収支 48億円の赤字
- 累積資金不足額 309億円（全国の公営地下鉄事業者で最大）
- 資金不足比率 31.9%
- 借入金残高約 4,300億円

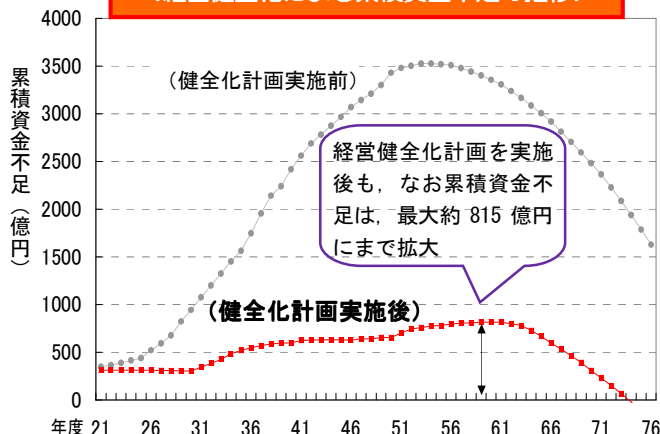
## 経営健全化の推進

### 更なる健全化のため、経営健全化計画を策定し、全市的な取組を実施

#### <経営健全化計画の主な取組内容>

- ① 収入増加策
    - お客様数一日あたり5万人増加
    - 駅ナカビジネスの更なる拡充
    - 年間収入目標 10億円（平成30年度）
  - ② 総人件費の削減
    - 駅職員業務の民間委託化拡大等による職員削減
  - ③ 一般会計の支援
    - 経営健全化出資の拡充 など
- それでもなお累積資金不足は平成24年度決算の309億円から更に増加を続ける見込み。

#### <経営健全化による累積資金不足の推移>



## 提案・要望事項

### 安全対策等を目的とした既設線の改修・更新への支援など地下鉄事業に対する財政措置

#### 大きな財政負担

- 開業30年を経過し、既設線の改修・更新事業が本格化 ※
- 経営健全化計画期間中(平成22~30年度)の所要経費約400億円
- 借入利率3%以上の高金利建設企業債の残高約600億円

要望

#### ※平成26年度概算要求の状況

「トンネル、駅施設等の更新・改修を支援する新たな補助制度の創設」が盛り込まれている。  
(事業費：15,873百万円、国費：4,000百万円)

- 鉄道施設の安全対策及び長寿命化等を目的とした既設線の改修・更新事業に対する補助制度の拡充
- 高金利建設企業債の借換制度の拡充（金利5%以上で未措置分の再実施、及び5%以上から3%以上への条件緩和）